

# 単立教会 東北支援プロジェクト

## ■3月7日 石巻希望の家 被災地コンサート

津波被害がひどかった石巻南部の浦屋敷地区は、未だに崩れた塀や荒れた空き地、窓が割れたままの工場跡など、多くの傷跡も残る地域です。

「石巻希望の家」は、震災当初よりこの地区の復旧作業に当たっているディーン・ベンソン師が、この地区から転居を決めたお宅の家をリフォームして、この地域の集いの場として今年開設しました。

浦屋敷では何度かコンサートをしてきましたが、今回は、この希望の家での初コンサートとなり、加えてショートメッセージの要請も受けました。教会以外の被災地コンサートで、直接聖書からお話するのは初めてとなります。

ここに集まる方は、心のうちにも多くの傷を残している人たち。全員、ノンクリスチャンの方々です。何をどう話するか、いろいろ考えさせられましたが、1テサロニケ 5:16~18 から、様々なことが起こりうる人生において、喜ぶこと、祈る(希望をもつ)こと、感謝することの大切さ、またイエス・キリストは悲しみや苦しみの中に飛び込んでくださる神であることをお話させていただきました。皆さん、耳を傾けてくださる姿がとても印象的でした。

これらはあくまでベンソン師や祈りの家の阿部さんらの地道な支援活動があつてのこと。「いたんだ葦を折ることもなく…」(イザヤ 42:3, マタイ 12:20)の御言葉を思いつつ、少しでも被災者に寄り添えるよう、協力していきたいと願っています。



## ■3月8日 キリスト教会・石巻祈りの家 礼拝奉仕／午後 仮設住宅コンサート

## ■3月9~10日 石巻周辺 仮設住宅コンサート

## ■3月11日 石巻・登米・南三陸・気仙沼合同 3.11 東日本大震災追悼記念会(賛美ゲスト: 竹下静)

## ■3月21~23日 聖望教会にて「フクシマを描く」アート展開催

当教会出身でカナダ在住のウォーレン志保子司祭(聖公会)らの企画により、「だからこの時代に生まれた〜フクシマを描く〜」ミニ展示会が開催されました。

展示された作品は、2013年に福島第一原発から5キロ地点を視察した9名のクリスチャン作家が作成したもので、2014年3月に、いわき市で展示会が行われました。

今回のミニ展示会は、カナダ・バンクーバー展開催に向けたもので、運搬費用捻出のため、作品集販売や献金も行われました。この5月にバンクーバー展が開催されます。



**多くのお祈り、ご支援に感謝します。今後も「細くとも長く」、現地の必要にあわせて支援を続けていきます。**

聖望キリスト教会では、被災地にあつて、地域に根ざした支援を行う小さな単立教会を中心に復興支援を行なっています。

・経済的援助 ・現地訪問と現地レポート(顔の見える支援・交流) ・教会活動のお手伝い(説教、奏楽、音楽コンサート)

郵便振替 00160-7-462934 「ホーリーホーププロジェクト」※通信欄に東北支援と記入(担当:竹下 TEL 080-5460-1766)